



### カワゲラウォッチング

カワゲラ・ヤゴなどの水生昆虫を観察し、水質を知り、河川環境について学びます。



# つながる森と川と海 私たちができること

### 五色ヶ原

北アルプス・乗鞍岳の山麓に広がる岐阜県高山市丹生川町の原生林「五色ヶ原の森」。ブナやシラビソなどの広葉樹林や針葉樹林が広がり、希少な山野草や溪流、迫力のある滝や池巡りが楽しめる。



**ライチョウ**  
岐阜県・富山県・長野県の県鳥。ライチョウは冬でも高山で暮らす日本で唯一の鳥である。特別天然記念物。



**ハリヨ**  
現在では滋賀県東部と岐阜県西濃地方の平野部の湧水地のみで生息が確認されている。絶滅危惧種の淡水魚。



### 達目洞（だちぼくぼら）

金華山の東山麓に位置し、昔ながらの里山の自然を今に残しています。達目洞には、金華山を水源とする清らかな水が湧き出して逆川（さかしまがわ）となり、この清流にヒメコウホネが可憐な黄色い花を咲かせています。

## 「清流の国ぎふ」を伝えていきたい！

海を守るために必要不可欠なもの—それは豊かな森と、清らかな川の存在です。岐阜県は、県の森林面積が82%と全国2位の森林県。木曽三川や、土岐川、神通川、九頭竜川など、多くの川が岐阜県の森林を抜けて海へと流れ込んでいます。

「清流の国ぎふ」をめざして取り組んでいるのが、岐阜県環境生活部清流の国ぎふづくり推進課です。樋田 幸浩さんにお話をうかがいました。

### 川が汚れている…

日本の三大清流のひとつ、長良川。ところが流域人口は約80万人で、同じ三大清流の四万十川の10万人と比べてもはるかに多く、川は汚れやすいといえます。なぜなら、人口の数に影響される生活排水は、川や海の汚濁割合の半分近くを占めているからです。さらに処理する污水処理施設の普及率は、岐阜県で86.3%と、普及していない地域も残っています。またその設備も様々で、トイレの汚水しか処理できず、台所から流される油などは浄化できないものもあります。ご家庭で排水対策を心がけることで河川や海への負担がぐんと減るようになります。

### 「飛山濃水」豊かな自然を守るために

清流の国ぎふづくり推進課では、岐阜県の「清流を守る」清流を活かす「清流を伝える」の3つの柱を中心に、活動を開始。水質調査や、河川清掃活動などにも取り組んでいます。

「コープぎふの森づくり」も含まれますね。植樹や保全活動を通じて、豊かな森を育てることで、きれいな水源を守り、災害に強い山や川となります。そして美しい川の水が流れ込んで、海が豊かになり、経済や観光、漁獲資源となって私たちに還元されます。海がない地域でも豊かな海を支える大きな関わりがあるんですよ。

そのつながりをイメージしてもらいために、私たちが力を入れて取り組んでいるのが、「川上と川下に住む人の交流」です。特に子どもたちに、川の上流での河川清

### 「清流」といえば「岐阜県」と言われたい

この春から本格的に活動を開始し、あらためて実感したことは「岐阜県の清流はすばらしい」ということです。清流を前に、どうしたらこの美しい河川を守っているのかを考えますね。みなさんと一緒に、岐阜県にある多くの森・川を大切にしていきたいです。



※1 平成19年 「ブルーリバー作戦 生活排水対策のすまめ」 岐阜県  
※2 平成21年度 岐阜県の污水処理人口普及率 岐阜県

樋田 幸浩さん  
岐阜県独自で制定している、7月の「清流月間」や、8月の「ぎふ 山に親しむ月間」を通じて、岐阜県の山や川をPRしています。



流葉山の上から見た雲海のすばらしさ、徐々に地球がある限り残したいと思います。飛騨市 Mさん



### 天生県立自然公園

天生湿原では春の雪解け時に水芭蕉やリュウキンカが、秋には紅葉が見られます。粉糠山山頂からは、北アルプスや白山を望めます。





国設流葉から見た北アルプスの雲海、里山の風景  
飛騨市 Mさん



郡上市八幡町、小駄良川にかかる清水橋  
関市 広瀬さん



中山七里の岩  
下呂市 匿名



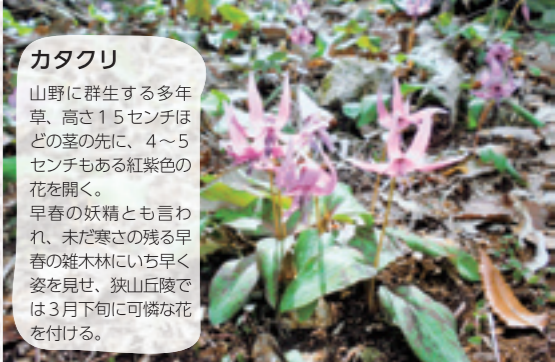
楽しい思い出の長良川 鏡島弘法近く  
岐阜市 浅野さん



大垣市曾根町、大島堤の桜並木  
大垣市 匿名

DEKOモニターさんに  
聞きました

次の世代に残したい  
岐阜県の  
山、川のある風景



関市、一色のカタクリの咲く山  
美濃市 匿名

## コープぎふの環境活動

# 環境の取り組みのキーワードは地域とのつながり

コープぎふ CSR チーム 高橋 勤さん

### 人の手で森が生まれかわる

関市上迫間にある「コープぎふの森・関」。2009年度は、のべ70家族380人が参加し、自然とふれあつたり、のこぎりを持って森林整備の体験をしてきました。この森づくりはもとも、2007年にスタートした岐阜県の「企業の森づくり」に共同し、コープぎふ10周年の取り組みとして、地域との連携を保ちながらすすめてきたものです。上迫間の森はもとも地域の里山として、くらしに欠かせない山でした。清水が湧き、食料となる木の実やきのこなどが採れ、燃料になる薪を拾う…人が手を掛けて、くらしを支える山だったのです。



ところが、人々の生活が山から離れ、手を掛けないようになり、どんどん荒れていきました。とくに戦後、スギを植樹した山は間伐や下草刈りが充分行われてこなかったため、密集して木が細り、地面にしっかりと根が張らず土砂崩れの原因にもなっています。



植樹の様子

はじめは、「いつしたらこの森が生き返るのだろう」という状況でしたが、地域のボランティアの方々の力や森林組合の日常的な手入れも加わって、まず道ができ、光が射し、この一年で少しずつ生まれかわっていきました。

### 自分のできることで

環境について考えてほしい  
取り組みの中で一番実感したことは、「人とひとがつながり、力を束ねること」が持つ可能性です。森づくりは地域の方や専門家の力がどうしても必要、コープぎふだけではできないことでした。その



**コープの森づくり商品でつながろう!**  
商品1点をご利用いただくと1円がコープの森づくり(苗木代、管理費)に活用されます。商品案内書についている[コープの森づくりのマーク]が目印です!



### 私たちの町から

#### 環境を考えよう!

**アライダシ自然観察教育林を「体験」**  
恵那中津支所 エリア委員会で、NPO法人 奥矢作森林塾の協力をいただき、恵那市上天作にある「アライダシ自然観察教育林(原生林)」の体験企画を6月4日に行いました。



恵那市上天作町には、一部に自然観察教育林として原生林が残されています。上天作町東部に位置するアライダシ自然観察教育林は、森林の働きや動植物の保護などが学べる貴重な場所ですが、市民にも意外と知られていないようです。環境について考えたり、何かに取り組むには、私たちが住む地域を知り、大切にいくことが必要だと思います。アライダシ付近には樹齢約2500年の弁慶杉や県内唯一の風力発電所などもあり、環境について考えてみる絶好の場所だと思います。この秋に第二弾の企画を実施したいと考えています。

### 「水の都」を守っていきましょう!

#### 上石津・牧田川の清流で 川の生き物調べ

6月4日、NPO団体「水門川いきいきプロジェクト」の皆さんといっしょに、上流の生き物調べを行いました。前々日までの雨のせいで川が増水していたため、川辺の植物の根の周辺や、石ころの下などを探すと、「コオニヤンマ」の幼虫(ヤゴ)やヤツメウナギ、天然記念物の「ネコギギ」など、大垣市内などの中流域では見ることのできない、珍しい生き物がたくさん見つかり、子どもたちも大満足の一日でした。最後は河川敷をみんなでゴミひろい。西濃のこの大切な川を、自然を残していけるようにしたいですね。



### 東海コープグループの森づくり

コープぎふ、コープ あいち、コープみえ、東海コープ事業連合と水産商品のメーカーさんと共同で、「コープの森づくり」に取り組んでいます。豊かな海を守るためには、森づくりからスタートです。北海道漁連(野付漁協)さんといっしょに、北海道野付付近の森林整備と植樹、丸千水産さんといっしょにインドネシアのタラカン島でマンブロープの植樹を、井ゲタ竹内(恩納村漁協)さんといっしょに沖縄県恩納村近海でサンゴの植え付けを行っています。



#### 沖縄県恩納村でサンゴの植え付けに参加した柳瀬弘子さんからのメッセージ

サンゴを守るだけでなく、移植して増やしていく活動、人間ができる、素敵なことですね。食べることは生きることでもあると思います。恩納村の自然が守られるよう、サンゴ保全活動に協力していきたいです。